

グループディスカッションについて

○なぜグループディスカッションをするのか

面接とは別に実施する以上、面接では測定できない力をチェックしている。面接と最も異なるところは、面接の相手は面接官だがグループディスカッションでは学生(受験者)である。つまり初対面で、ある意味ライバルである受験者と協力し課題解決するプロセスを見ることで、チームワーク(協調性)を測定しているのである。少なくとも斬新なアイデアを出す力をチェックしているのではない。

また、個人単体ではなく協調性、リーダーシップ、傾聴力といった他の人と関わったときにどういう態度であるか、を見ている。【対人能力】

【対人能力】

自分のアイデアを無理やり主張して正解とするのではない。せっかく複数の方がいるのに私の強い人間1人で意見を押し通すのではグループディスカッションの意味がない。

- ・人の意見を聞くことができる
- ・人の意見を頭ごなしに否定しない(「それは意味が無い」など)
- ・人格を否定するような発言をしない
- ・あまり話をしていない人に発言の機会をさりげなく与えることができる
- ・煮詰まったときに方向性を示せる
- ・敬語をある程度使える

など

グループディスカッションでは、周りは選考のライバル・敵と考えるのではなく協力者として接する。人間関係構築のベースにあるのは「一人でやるよりも皆が頑張ればよりよいものになる」と信じる事にある。その信念を具体化する際に「(相手の意見を)聞く」「(相手の意見を)認める」「(自分の意見を)与える」が必要となる。

○グループディスカッションの流れ

様々なグループディスカッションの形があるので決まったものではないが、大まかな流れは以下の通りである。

- ①進行係から課題が配布され、それぞれの意見を決められた時間でまとめる
- ②意見がまとまったら、進行係から話し合いをする時間が伝えられ、話し合いが始められる
- ③グループの中から司会、記録、計時などの役割を決め、話し合いを進める
- ④時間が来ると、グループとしての意見を聞かれそれぞれ質疑応答が行われる

企業によっては、司会をたてなかったり、記録としてホワイトボードを使わずにそれぞれがメモをとるなどいろいろな形があるので報告書などを参考にしよう。

○準備

測定する力がチームワークであっても議論である以上、的確な意見が言えるように予め課題を想定した準備をしなければならぬ。具体的な準備を挙げると

- 企業研究を改めて行い、事前に課題に関する情報を集める
先輩の受験報告書を参考にしてみたり、自分が受験する企業の問題点や課題点はないか常に心においておく
とネタに困ることが少なくなる。
- 受験する会社や業界に関わるニュースをチェックする
企業研究の一環としても受験する会社のニュースをチェックしておこう。それを論述できるようになるとも
っと良い。
- 練習をする
グループディスカッション特有の雰囲気になれるためにできるだけたくさん練習をしておこう。とにかく場
に飲まれて発言できなければ印象は悪い。何度も練習すること。

○チームワークを発揮するために

1. 自分の役割をこなす

与えられた時間÷人数分の時間でしっかりと自分の意見を主張することが自分の役割になる。ディスカッションに参加した時間が少なければ、当然自分の役割をこなしたことにはならない。自分の役割とは下記のようなことである。

- ゆっくりと大きな声で話す
相手に伝わらなければ意見を言ったことにはならない。もちろん周囲でチェックしている面接官にも聞こえなければ評価は下がる可能性がある。
- 論理的に簡潔に話す
例えば、「お店の売上を伸ばそう」という場合、
a「ではチラシを配りましょう」
b「このお店は集客に問題があるので、チラシを配ることで解決しましょう」
c「集客方法はチラシだけでなく、新聞、テレビ、雑誌などの方法を検討しましょう」
どれが目標に対して論理的に意見を述べているだろうか。
- 全員に問いかけるように話す
伝えたい人に顔を向けて、伝えたい気持ちを届ける気持ちで話さなければ相手の心には届かない。相手の顔を見て全員に均等に伝えようと努力しよう。

2. 他人の役割を支援する

グループディスカッションはディベートではない。自分の意見を押し通すことが目的ではない。よりよい解決法やよりよいまとめを導こうとするためである。他人の役割を支援するということは、他のメンバーが意見を言いやすい、理解しやすい環境を作ることである。

- 話し手の顔を見てうなづく

真剣に話を聞いてくれる人がいたら、嬉しくて誰もが話し安くなるもの。深くうなづいたりリアクションを取ることで話下手な人でもどんどん話してくれるだろう。その所作が基本中の基本となる。

- メンバーの意見をまず受け入れる

話がわかりにくかったり話に矛盾があったりするなどもし欠点があってもディスカッション全体に影響をおよぼすような大きな間違い以外は指摘する必要はない。大切な事は、積極的な意見がどんどん生まれるような雰囲気を作り出すことにある。

- メンバーの意見を要約する

「〇〇さんの意見は、××××ということですね」と、ようやく出来るとメンバー全員がその意見を正しく理解することができ、次の意見も出やすくなる。また、最後の発表もまとめやすくなる。

- 全員が意見を言えるようなコントロール（司会者）

自分の意見ばかり言う者、少ししか意見を言わない者がでてきたときに「まだ〇〇さんの意見をじっくり聞かせてもらっていないのでもっと聞かせてもらえませんか」など、話下手な人でも上手く話せるような声掛けを、また逆に「〇〇さんの××といった意見は素晴らしいと思います。しかし、まだ意見を癒えてない方もいらっしゃると思いますから次の人に話す機会を分けてもらってもよろしいですか」などの声掛けができることさらによい。

3. チームの目標を達成する

このディスカッションでの目標は素晴らしい結論を出すことではなくあくまでも出題者が最初に提示した課題に対する答えを時間内に議論してまとめ発表することにある。少しでもいい結論をだそうとする意欲は捨てないが、必要以上にこだわってもならない。

- 時間の有効利用

司会者がはじめに時間を区切ってからディスカッションを始めてもよい。司会者でなくても時間管理には注意しなければならない。

- 意見が割れたり混乱したらいったんまとめる

意見が割れてしまったり、意見が錯綜してしまったら「ここまでの議論を整理したいと思う」と発言し「意見として大きくまとめると…」など問題点を整理することが肝心。まとまらないと思ったら例えば「残り時間が〇〇分しかないので、テーマを絞ってみたい」など時間がないことを武器に議論の方向性を定めるアクションが必要となる。他にも「多数決をとってみよう」「Aという意見が正しいという前提でこのあとの議論を進めましょう」など。

- 視点を変えてみる

話が盛り下がってしまったら、率先して視点を変えてみよう。例えば「今までは実現性やコストを考慮して意見を出しましたが、今度はお客様の立場でどのようなサービスが望まれるか考えましょう」など議論を前にすすめる機転も必要になる。

- 同意を得る

最後には議論した内容をまとめなくてはならない。よって、メンバー全員に発表内容の同意を得なくては行けない。「今までの議論をまとめましょう」と司会者以外が提案しても良い。意見をまとめるコツはまずタイトルを決めること。タイトルを決めて、その内容を箇条書きにすると発表が論理的になる。

○その他

- 始まる前に可能であれば参加者同士で軽く話をしておく

初対面で議論をするのと比べれば確実に場の雰囲気良くなる。まず緊張と戦う負担が軽減される。あくまでもグループディスカッションはライバルではなく協力者と頑張る、というスタンスを忘れずに。

- 敬語を使う

敬語の「丁寧さ」は相手に安心感を与える。敬意を払われていると感じてもらうこともでき、意見が活発に出て気やすくなる。

- 話し過ぎない

自分の個人能力を披露しようと努力しすぎて前述の【対人能力】にマイナスがついても仕方がない。個人能力は面接やペーパーテストで発揮させよう。

グループディスカッションでのテーマ 例

自分なりの考えをまとめてみよう

■ 時事問題や社会問題

学生の問題意識や社会に対する関心を見ます

- ・ ゴミはどうしたら減らせますか
- ・ ○○○の料金は、どうしたらもっと安くなりますか
- ・ 電車内の携帯電話のマナー違反をなくす、もしくは減らす方法について考えましょう

■ 現状から将来や未来を予想する

先見性があるかどうかを見ます

- ・ 10年後の××業界はどうなっていると思いますか
- ・ 10年後の日本社会はどうなっていると思いますか
- ・ 日本の首都を移転するとしたらどこにしますか

■ 業界研究と会社研究を問われるもの

分析力を見ます

- ・ 組織における個人の役割とはなんですか
- ・ 理想とする社会人像とはなんですか
- ・ 理想の上司とはどんな人ですか

■ 与えられた問題を解決するもの、企画させるもの

問題解決能力、企画力を見ます

- ・ 日本に新しい休日を設けるとしたら、どんな日にしますか
- ・ 地球最後の日をどう過ごしますか
- ・ 嫌いな食べ物を好きにさせる方法を考えてください

■ 日頃の問題意識を問うもの

賛成か反対かの意見を発信させます

- ・ 消費税アップに賛成ですか、反対ですか
- ・ 何のために「コミュニケーション」は必要ですか
- ・ 仕事とプライベートではどちらが大事ですか
- ・ よい会社とはどんな会社ですか
- ・ 結果と過程、どちらが重要ですか
- ・ うそは必要ですか
- ・ お金と時間、どちらが大事ですか
- ・ 幸せな家庭の定義とはなんですか
- ・ 就職活動とは何ですか

- ・学生と社会人の違いはなんですか
- ・生きるうえで一番大切なものは何だと考えていますか
- ・「働く」ことの意義はどこにあると考えていますか
- ・企業について優秀な人材とは何ですか

■条件を提示させるもの、優先順位を付けさせるもの
価値観を見ます

- ・プロフェッショナルとは何ですか
- ・会社が成長するための条件は何ですか
- ・無人島に3つのものを持っていくとすれば何を持っていくか
- ・どんな人がリーダーにふさわしいと思いますか
- ・よい先生とはどんな先生のことだと思えますか

■その他

- ・原子力発電所（原発）を廃止すべきである是非か
- ・死刑制度を廃止すべきである是非か
- ・裁判員制度を廃止すべきである是非か
- ・週休2日制を廃止すべきである是非か
- ・友達、親友とは何か？
- ・人は何のために生きるのか？
- ・仕事とは何か？
- ・何のために勉強するのか？
- ・人生に勝ち組、負け組があるか？
- ・やりがいと給料のどちらが大切か
- ・都会と田舎住むならどっちがいいか。
- ・オンリーワンとナンバーワン、どちらを目指すべきか。
- ・ものづくりに必要な3つの要素とは。